

伸びゆく力

～ めざす教師像 ～

- * 子どもとともに学び、子どもの心に寄り添う教師
- * 学校視野をもち、組織で取り組む教師
- * 地域へ貢献する教師

子どもへの愛情 ～ 褒めること ～

「玉磨かざれば光なし」という言葉があります。どんなに優れた資質や才能をもっていても学問に励み努力を積み重ねなければ立派な人間になれないという意味です。子どもはあらゆる可能性を秘めている原石です。その原石を光り輝くようにするには、子ども自身の努力や鍛錬はもちろんですが、教師や親による褒め言葉の影響は大きいのです。松下村塾での人材育成がまさにこの方法でした。

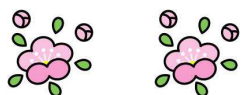


人間は褒められることによって、「前向きに取り組む」「チャレンジ精神が高まる」「自分に自信がもてる」「気持ちが安定する」など、心豊かになり、次の目標に向かって努力を始めます。まずは、存在感を認め、どんな小さな変化でも気づき「褒める」ことです。

「褒」という漢字は画数が多くて複雑に見えるのですが、分解してみると案外わかりやすい字です。「衣」という漢字の上の部分（亠）と下の部分が分かれており、その間に「保」という文字が入っています。「保」は守る必要がある人、つまり子どもを意味します。したがって、「褒」という文字はゆったりとした衣服の中に子どもが包みこまれているというのが語源だそうです。まさに愛情たっぷりの状態ですね。

褒めるためには大人の精神状態が重要です。いらいらしているようでは、せっかく子どもが頑張っているのに素直に喜べないし、褒めるタイミングを逸してしまいます。また、年齢に応じた褒め方も重要です。思春期になると、幼児の頃と同じ褒め方では素直に喜びません。その時は、さまざまな人たちによる連携が大切ですね。面と向かって褒めるよりも、第三者的な人が褒めていたことをメッセージとして伝えると効果があります。

学校、保護者、地域が連携して、一人ひとりの子どもを褒めることで才能を開花させ、光り輝くよう磨いていきましょう。
(長富良子)



佐波小ニュース



中学校進学説明会・出前授業 2月19日（金）・24日（水）



6年生が佐波中学校の中村校長先生や松富先生から学校生活についての心構えや内容について説明を聞きました。また、24日には平木先生と田邊先生による体育の授業を受けました。緊張しました！



特別賞受賞 2月19～20日

2年生が子ども創造作品展で特別賞を受賞しました。「ゆめの町さばランド」という共同制作です。



お弁当給食 2月24日

お弁当給食を実施しました。持参した弁当箱に上手に盛りつけ、互いに楽しそうに食べていました。



学校運営協議会の開催

2月22日に、学校運営協議会を開催しました。今回は一年間の総括ということで、今年度の学校運営についてのご意見やご感想をいただきました。また、学習支援、環境、安全体育の3部会による取組の反省やふり返り、来年度へ向けての方向性について協議しました。市教育委員会の古江コンダクターや荒瀬係長からも前向きな取組について評価していただきました。



～ 保護者による学校評価結果のお知らせ ～

先月、保護者の方に本校の教育活動について評価していただきました。毎年少しずつ改善しています。今後もプラス項目の回答が増えるよう、学校、家庭、地域の連携した粘り強い指導が必要と思います。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

	質問項目
1	あなたのお子様は、あたたかい言葉(ハッピー言葉)をつかっている。
2	あなたのお子様は、まわりの人に進んであいさつをしている。
3	あなたのお子様は、きまりや約束を守って生活している。
4	あなたのお子様は、意欲的な態度で授業に取り組み、先生の話や友だちの意見を聞いている。
5	あなたのお子様は、いろいろなことがらについて、わかりやすく話すことができる。
6	あなたのお子様は、進んで掃除をしている。
7	あなたのお子様は、人の間違っ意見や行動に流されずに、自分で考え正しい行動をしている。
8	あなたのお子様は、天気の良い日は、外で遊んだり、運動をしたりしている。
9	あなたのお子様は、家庭学習を低学年20分、中学年40分、高学年60分以上している。
10	あなたのお子様は、家庭で本を読んでいる。
11	あなたのお子様は、先生はわかりやすく勉強を教えてくれると言っている。
12	あなたのお子様は、先生は自分をほめてくれると言っている。
13	あなたのお子様は、先生は自分の話を聞いてくれると言っている。

